

やま 会報 ぶら

大平山より



親睦会



山口県土地家屋調査士会

No.112.2013.1

CONTENTS



No.112-2013

1

新年あいさつ

山口地方法務局	局長	多田 衛	1
山口県土地家屋調査士会	会長	西本 聡士	2
山口県土地家屋調査士政治連盟	会長	三好 一敏	3
山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会	代表理事	下野 洋二	4

第1回本部研修会報告	業務部理事	熊谷 剛全	5
------------	-------	-------	---

第2回本部研修会報告	業務部理事	三崎 友紀	7
------------	-------	-------	---

支部研修会報告	周南支部企画委員	竹安 正信	8
	山口支部企画委員	原田 英樹	9
	宇部支部理事	久保真珠美	10

全国一斉！法務局休日相談所

岩国会場	岩国支部長	井上 哲也	11
周南会場	周南支部長	富永 弘	11
山口会場	山口支部長	本間 正幸	12
萩会場	萩支部	竹内 重信	12
宇部会場	宇部支部長	藤本 精二	13
下関会場	下関支部	清水 浩二	14

山口法律関連士業ネットワーク

「第14回一斉共同相談会」開催報告

広報部長	益田 正規	16
------	-------	----

親睦会 開催報告	岩国支部長	井上 哲也	18
----------	-------	-------	----

山口青調会の活動

全国大会	宮崎 敏幸	20
座談会	山崎 義文	23
勉強会	福田 真也	25
ボウリング大会及び懇親会	大森 淳一	26

親睦クラブの活動

ソフトボール同好会 「三青調会対抗ソフトボール大会」参加報告

ソフトボール同好会	百合野 崇	27
-----------	-------	----

ランニング同好会 活動報告

ランニング同好会代表	井上 哲也	28
------------	-------	----

「書状集箱（郵便ポスト）」	萩支部	廣石 勝	29
---------------	-----	------	----

事務局だより			30
--------	--	--	----

新年の御挨拶

山口地方法務局 局長 **多田 衛**



新年あけましておめでとうございます。山口県土地家屋調査士会会員の皆様には、御家族ともども明るい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、会員の皆様には、平素から法務行政に対する深い御理解と登記制度の充実・発展のために、格別の御尽力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、1年10か月が経過しましたが、被災地域は、いまだ復旧・復興の途上にあります。法務局は、引き続き、倒壊した建物の滅失登記、筆界の復元、地図の修正等の事業を着実に実施していくこととしております。当局からも昨年仙台局に応援職員を派遣したところでありますが、これらの事業は、被災地域の復興の前提として必要不可欠のものでありますので、被災地域の法務局のみならず、全国の法務局が一丸となって、被災地域の復興をしっかりと支えてまいります。

また、表示登記事務における現下の最重要課題は、登記所備付地図の整備であると考えております。この課題につきましても、従来から、登記所備付地図作成作業及び地図混乱地域対策作業を実施しており、効率的かつ計画的に地図作成作業を行うため、1年目に対象地区の地図混乱地域対策作業を実施した上で、2年目に同じ地区の登記所備付地図作成作業を実施することとしております。昨年は、2年目作業として、周南市栗谷地区における登記所備付地図作成作業を実施し、1年目作業として、下関市綾羅木地区における地図混乱地域対策作業を実施しました。本年は、下関市綾羅木地区における2年目作業並びに周南市一の井出地区及び金剛山地区における1年目作業を実施する予定であり、今後も着実に登記所備付地図の整備を図ってまいります。このほか、当局特有の課題として、山地番・耕地番の重複地番の解消という課題がありますが、これにつきましても、一昨年から作業を開始したところであり、一昨年は阿武郡阿武町の約5万筆について、また、昨年は玖珂郡和木町の約4千筆について重複地番の解消作業を実施いたしました。今後も市町の御協力を得ながら、着実に作業を実施してま

いります。

ところで、オンライン申請の利用促進につきましては、政府のIT戦略本部により、平成23年度から平成25年度までの間に講ずる措置を定めた「新たなオンライン利用に関する計画」が策定されておりますが、当局におきましても、この計画にのっとり、利用促進の取組を強力に進めているところであります。会員の皆様の御理解・御協力により、お陰さまで、最近におきましては、当局では、登記の甲号事件の5割程度、乙号事件の6割程度がオンライン申請されております。ただし、新たなオンライン利用に関する計画を受けて策定された法務省における業務プロセス改革計画では、登記関係の5手続（不動産登記甲号、不動産登記乙号、商業登記（株式会社）甲号、商業法人登記乙号、成年後見登記乙号）について、平成25年度においてオンライン利用率71%が目標とされており、目標にはいまだ一歩という状況であります。既にオンライン申請を御利用いただいている会員の皆様方にはより一層の御利用をお願い申し上げますとともに、これまで御利用いただけていない会員の皆様にも、新年を機に、是非とも御利用をお願い申し上げます。

また、本局の登記部門待合室に、登記事項証明書、印鑑証明書、地図証明書等の請求を行うことができる「証明書発行請求機」を設置しております。この請求機は、簡単なタッチパネル操作であること、請求書の記載が不要であること、窓口の請求より速いこと等のメリットがありますので、御利用いただきますようお願い申し上げます。

お願いごとが多くなりましたが、今年も会員の皆様からの御支援をいただきながら、国民の皆様の信頼と期待に応え得る質の高い行政サービスの提供を目指して、職員一同、全身全霊で取り組んでいく所存でありますので、引き続き御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、山口県土地家屋調査士会の益々の御発展と、会員及び御家族の皆様の御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年ご挨拶

山口県土地家屋調査士会 会長 西本聡士



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

平成25年の元旦は光市に36年居住していますが、初めて雪景色の朝を迎えました。そんなこともあり、地元の元日登山はほとんどの会場で中止となって、毎年恒例の先輩たちにたたき起こされることは幸いにもありませんでした。今年の正月三日間はまさに寝正月、年末からの地元聖光高等学校が活躍した全国高校サッカー選手権のPK合戦に一喜一憂し、箱根駅伝中継観戦で三日間はあっという間に過ぎ去りました。日頃老人介護施設で母親がお世話になっているので、正月ぐらいいは一緒にいようと意気込んだのですが、ストレスの溜まった三日間でもありました。年末に長男が入籍したので一息ついていたのですが、子供が片付いたあとは親の介護、そのうち自分が介護されて一生が終わるとはよく言ったものです。このような話を悪友たちに愚痴ったのですが、「お前も若い頃には好きなことをしていたのだから、因果応報」と諭されてしばし沈黙……。

年明けの新聞報道は、日頃法律関連ネットワークで共に活動している関連士業の2団体の不祥事が目を引きました。ひとつの事件の当事者は私の生い立ちにも関連していますので、また機会があればお話をしますが、もう一件は調査士会からも処分者が出ましたので他人ごとではありません。私たちも研鑽を積み、高度な倫理観を持って誠実な業務を行いたいと考えます。

話は変わりますが、本年度事業に東日本大

震災で被災した宮城会、岩手会、福島会に対して、些少ではありますが支援金を贈る事業を計画しました。本部研修会を兼ね宮城会鈴木会長・岩手会菅原会長には山口まで出向いていただき、震災の被害状況にのみならず、土地家屋調査士業務に関連した色々なお話を聞くことができました。位置情報や日頃私たちが扱う地図に対する考え方等、大変に参考になったと考えています。年末には戸倉・杉山両副会長が東北ブロック主催の東日本大震災関係の行事に参加する機会を利用して3名で福島会に出向きました。残念ながら日程の都合上、私は早々に帰りましたが、両副会長は福島会の柴山連合会理事の案内で福島県の原因関係被災地まで足を踏み入れることができた様です。現在山口法律関連士業ネットワークと連携して山口県との災害協定締結を進めていますが、明日は我が身と考え海拔表示板等の設置を通じて地域に社会貢献も行い、制度のPRを勧めたいものです。

最後になりましたが、竹内連合会会長はよく組織の帰属意識と3条業務の新たな拡充が業務開拓につながると述べられています。ただ単に表示登記申請にこだわることなく、今年の干支である巳のように脱皮を繰り返し、制度の生い立ちのような嘱託公務員の道へ後戻りしないような業務の開拓を強く推し進めるべきだと考えています。経済も持ち直しの方向に針が触れています。今年1年も良い年になるよう祈念し確信して年頭の挨拶といたします。

新年のご挨拶

山口県土地家屋調査士政治連盟 会長 **三好一敏**



新年明けましておめでとうございます。
一昨年3月11日の大震災から1年10ヶ月が過ぎ、昨年は憚（はばか）られた新年の挨拶に、ようやく“おめでとう”の年頭の辞を飾ることといたしました。

昨年は夏の山口県知事選挙と、師走選挙となった2012衆議院選挙が行われました。県知事選挙はすでに幹部会で決定していた山本繁太郎さんを知事候補として推薦をし、応援していくことで活動を行いました。山本繁太郎選挙事務所本部は山口で、我が土地家屋調査士会館の隣、旧ばるるの建物1階部分を借りておられたので、隣人が越してきたという気易い感覚で事務所を訪ね、推薦状を事務局の方に渡して参りました。その際当選の暁には公益社団法人山口県公嘱託登記土地家屋調査士協会の公益化記念パーティへの参列をお願いして参りました。前二井関成知事が公嘱協会の社団設立時に、当選後初の公式行事として参列して頂いたことを引き合いに出して。

選挙結果は皆さんがご存じの通りでしたが、山本繁太郎新知事は選挙中の体調不良を治療するための療養が必要となり、公嘱協会への披露パーティ参加は叶わず、副知事が代理で出席をされ、山本新知事から託されたメッセージを読まれました。

さらに暮れに行われた2012衆議院選挙で、民主党政権から自民党公明党政権へと転換が起きました。選挙の告示前に私が招集をかけ、山崎副会長、水津幹事長と乗川名誉会長

4名で衆議院選挙対策会議を開き、候補者の推薦を行いました。その結果推薦を行った3名の候補者（1区高村正彦、2区推薦者なし、3区河村建夫、4区あべ晋三）について、会長幹事長、名誉会長が手分けをし、各候補者の事務所に推薦状を持参して激励を行って参りました。なお2区について、岸信夫、平岡秀夫両氏を我が政治連盟は顧問をお願いしておりますが、全国土地家屋調査士政治連盟の推薦基準に照らし、同一選挙区で定数以上の推薦は行わないこととなっているため、推薦を見送ったという経緯があります。推薦を行った3名の方全員がすばらしい成績で当選されたことは、皆さんがご承知の通りであります。

山口県土地家屋調査士政治連盟は限られた予算で運営せざるをえない状況にあるため、春先の幹部会で、「本年中の衆議院解散はないと思うけれども、万一解散があった際には、正副会長幹事長と名誉会長で対応を行う。」旨の決議を得ておりました。突然の師走選挙となりましたが、予算の関係で役員の方々に集まって頂き選挙態勢を整えるということもできませんでした。そして選挙協力を頂き、土地家屋調査士の知名度アップに貢献して頂いた政連幹部の方々、会員の方々に紙面をお借りして心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今年が皆様方にとって良き年になりますようお祈りしております。

新 年 挨 拶



公益社団法人 山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 代表理事 **下野洋二**

皆様におかれましては、幸多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ロンドン五輪における日本人選手の活躍など、明るい話題もありましたが、一方、海外では、日韓、日中の領土問題の過熱、国内では、いきなりの衆議院の解散・総選挙、県内では、大規模事業所の統廃合に伴い大量な退職者が出るなど、不安定な動きが多く見られました。日本が置かれている状況は、依然として厳しいものがありますが、本年は、よい年でありますよう期待しております。

山口公嘱協会は、公益社団法人へ移行しまして、ようやく1年が経ちました。当協会では、新たに「嘱託登記アドバイザー」を設置し、官公署の方々に対して公嘱業務についての提案や地籍調査事業への参入について協議をさせて戴きました。また、貴会が周南市で行った海拔測定事業を引き継ぐ形で、県内からお問い合わせいただいた市町において、当協会が中心となって実施しております。これらのことは、当協会の行う事業について一定のご理解をいただき、土地家屋調査士の存在をアピールできたのではないかと考えます。

そして、昨年7月には、貴会と当協会が共同して「山林地図検討準備委員会」を立ち上げ、山口県特有の問題である、山林地番地域において公図の備え付けがない事の解消を図ることを目的とし、動き出しました。これは、山林地番区域における不動産の表示に関する業務処理の難しさを解決して、県民の大切な

財産を守ろうとするものです。歴史的資料の収集と調査を行うことから、事業完了までには、多くの時間と労力を要すると予想されますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

他方、従来から引き続き行っている事業としまして、不動産登記法第14条第1項地図作成作業に関しましては、下関市での業務を一般競争入札で受注しました。また、周南市では2年目の業務を遂行しております。協会は、この14条地図作成事業や地籍調査事業などの地図作成事業については、公益目的事業の1つとしており、今後も積極的に関与していく所存です。

また、当協会は、万が一、災害が発生した場合における緊急対応活動等に関する協定を県内市町と締結するために、市町担当者の方々に提案を行い、協議に入る予定です。災害時において、公益法人である当協会が土地家屋調査士の集団として貢献出来ることは何かを考え、有事の際には行動できるよう努めていきますので、貴会のご理解とご指導、ご支援を、よろしく賜りたいと存じます。

最後になりましたが、山口県土地家屋調査士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

本部研修会報告

第1回本部研修会報告

業務部理事 熊谷剛全

日 時 平成24年9月14日（金）
午後1時～午後5時
会 場 山口県セミナーパーク 大研修室
内 容 「土地家屋調査士業務報酬を今一度考える」～明日からできること～
講 師 宮城県土地家屋調査士会
鈴木 修 会長
出席者 会員64名

この日、鈴木先生を講師に迎え平成24年度第1回の本部研修会が開催されました。

今回の研修会を業務部で企画するにあたり、会長をはじめ本会役員の面々が鈴木先生をお招きする事を熱望されていたので、どんな研修内容なのだろうかと、とても興味がありました。

研修会の冒頭で先生は、東日本大震災の現状について報告をされました。

女川町、陸前高田市、石巻市・・・ほんの1月前に先生が撮影された画像や動画をパワーポイントで見せて頂きました。

被災地の現状を知る事ができ、復興は未だ道半ばなのだという事を痛感させられました。

先生は「10年以内に○%の確率で地震がある」と言われれば、みなさんは知らず知らずに10年後までは安心だと思ってしまっているのではないのでしょうか？と言われました。

誰もが今日、明日に地震が起きて自分が被災するとは思えない。

でも東日本では実際に「その日」が来てしまったと。

平時の時にこそ、災害のシュミレーション等、やっておくべき事の大切さを警鐘されました。

併せて、全国からの復興の支援に何度も感謝の言葉を繰り返されていました。

その後、いよいよ研修の本題に入っていきます。

先生はまず、事務所経営において「原価計算」の意識がいかに大切かという事を、「アンパン作り」や「ラーメン屋さん」などの分かり易い例を挙げて説明されました。

「まず、自分の事務所の損益分岐点を知る事が基本の”き”です。これが分かっているのに赤字と言うべからず！」と言われました。

研修に参加された方々は経営者でもあるので、「売上－経費＝利益」という式は当たり前だと思われたでしょう。

損益分岐グラフも何度も目にされていると思います。

その原則が分かっているにも拘わらず、自分の事務所の本当の経費や損益分岐点について、明確に数字で答えれる人が何人いらっしゃるのでしょうか？

私などは、事務所経費について先生から「自宅を事務所にしているから、身内を補助者にしているからコストは0ですか？」

「現金が動いていないだけで実質はマイナスですよ！」と言われ、はっとしてしまう始末・・・

今まで経費について、如何に自分がいい加

減だったかを痛感しました。

いい加減な経費の把握では、いい加減な売上の目標しか出来ない、さらに売上の元となる単価（報酬額）もいい加減なものになってしまうのだと思いました。

先生は事務所の経営に対して、「こうすれば良い」とか「こうしてはいけない」などの具体的な話はあまりされなかったように記憶しています。

ただ、安易な値引きについては苦言を呈されていました。

「値引きは利益からしか引けない！」と言う事、単価を下げて売上増を期待しても実際は大変だと言う事を説明されました。

忙しいばかりで儲からない仕事をするよりは「美味しいアンパンやラーメン」を作ってみようと考えてみませんか？と言う先生の提案でした。

また、ビジネスと言う視点から幾つかのヒントとなる考え方を示して下さいのように思います。



「法律も頻繁に改正します。皆さんはその都度、面倒だと考えていませんか？」新しいモノ”の中にこそビジネスチャンスはあるのです。それに新しい事を極めるのって意外と大変じゃないんですよ！」と言われた言葉が私には一番印象的でした。

最後に先生は「成功の反対語はなんだとおもいますか？」と質問されました。

「成功の反対語は失敗じゃなく、何もしないことなんです。」と言う言葉で研修を締め括られました。

私を含め、この研修を聴かれた方の中で1人でも多くの方が「事務所の損益分岐点」について考えて下されば、今回の研修は大成功だったと思います。

最後に、宮城会会長という多忙な職務の中、また復興の道半ばの今日に全国の調査士の為に飛び回っていらっしゃる鈴木先生に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ありがとうございました！



第2回本部研修会報告

業務部理事 三崎友紀

日 時 平成24年11月10日（土）
午後1時～午後5時
会 場 山口県教育会館
内 容 「土地家屋調査士から見た東日本大震災」
～発生から現在までの苦悩と対応～
講 師 岩手県土地家屋調査士会
菅 原 唯 夫 会 長
出席者 会員 41名

岩手県土地家屋調査士会から菅原唯夫会長を講師に迎え第2回本部研修会が開催されました。

「初めに」

菅原会長が義援のお礼と自己紹介をされ、次に研修会の全体説明を受けました。

「第1部 東日本大震災発生」

発生前から多かった地震、津波の威力、一夜明けた被災地の現状、ライフラインの寸断、情報の混乱など、私達山口県民がマスコミから入ってくる情報と現地の生の情報がどれだけ違うかを映像を交えて説明していただき、大変ショックを受けました。

「第2部 大震災と土地家屋調査士業務」

土地家屋調査士会による無料相談会等を行われましたが、発生当初は相続問題が多く、浸水域の買い取り問題、高台移転等、国の復興計画がはっきりしない為、境界の問題や建物登記に関する相談は少なかったそうです。

業務としては、滅失登記の判断基準、地殻変動による筆界復元の難しさ等の問題点を説明していただきました。

また、官民一体で復興をめざしているが、

官の縦割行政が弊害となり、土地家屋調査士業務も含め、全ての手続にそれが復興の妨げとなっている事を強調されていました。

「第3部 現在の被災地の様子」

発生から1年8ヶ月とニュースでは言いますが被災現場の人からすればたった20ヶ月であり、岩手会会員の事務所跡地は未だ瓦礫の山の下にあるなど、まだまだ復興復旧にはほど遠い状態であると感じました。

また菅原会長の「まず被災地を見ることから始まり、復興まで見続けて欲しい。

私達は忘れられることが一番恐ろしい…」この言葉が今回の研修会で一番考えさせられる言葉でした。

「最後に」

山口県にも同じような震災が起きるかもしれないという危機感を常に持って平時である今のうちに、ライフラインが寸断された際の土地家屋調査士会の連絡・安否確認方法等、確立しておくべきと痛感しました。

最後になりますがこの度の東日本大震災や多くの天災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。



支部研修会報告

周南支部研修会報告

周南支部企画委員 竹安正信

平成24年12月5日（水）15時～17時まで山口地方法務局周南支局3階会議室で「93条不動産調査報告書について」研修会を開催し、出席者数は24名（補助者を含む）でした。

最初に「登記官の目線からの報告書と要望」ということで、竹谷 敏表示登記専門官から、土地は第4章（筆界の確認）と第5章（地積の測量方法）、建物は所有権証明書の誤記と申請書と齟齬する事項の補足説明を重点的に見ていること、そして報告書の内容次第で実地調査時間が短縮でき、また筆界確認は本人確認と権限ある立会者が正しく立会（意思表示）したことが必要等の説明がありました。

なおブロック表専会議で現在の報告書では地番記載の重複も多く、会員に負担がかかるとして、様式改正の話題が出たことの報告もありました。

続いて清水浩二業務部長が「調査報告書の記載方法」について、会員に日頃の書き方を問いながら、具体的事例を用いて詳しく解説されました。

報告書は登記官の為だけではなく、自分の為に作成していると話されていたことはとても意義あるものでした。

報告書は30年間法務局に保存され、また報告書の提出が土地家屋調査士の特権と考えれば、改めてその重要性を感じました。

年末のお忙しい中、講師を引き受けてくださいました竹谷表示登記専門官と清水業務部長に感謝いたします。

研修会終了後は、司法書士会周南支部との合同忘年会が盛大に行われ、今年の支部行事は全て終了しました。



山口支部研修会報告

山口支部企画委員 原田英樹

平成24年10月5日（金）午後1時30分から、山口県土地家屋調査士会館2階会議室において、山口支部研修会を開催し、山口支部会員10名が出席しました。

講師福井コンピュータ（株） 福田義丈様をむかえ、『D X Fから、S X Fへと進化するC A D取扱全般について（C A Dデータの種類及びデータ交換について）』をテーマに行いました。

その中では、業務に必要なフォーマットの基礎的なことや、各種業者間とのC A Dフォーマットに係わるデータのやり取りなどを学習しました。多くの会員にとって、有意義な

研修になったと思われます。

以上、簡単ではありますが報告を終わります。



宇部支部研修会報告

宇部支部理事 久保真珠美

日 時 平成24年11月9日（金）
午後5時～7時

場 所 ユーピーアールスタジアム（宇部市野球場）
第一会議室

内 容 不動産登記及び相続に関する税務
講 師 中国税理士会宇部支部
金崎 浩

出席者 会 員 14名
補助者 3名

最初に、平成25年1月から復興特別所得税が創設されるので、その取扱いについて詳しく説明がありました。

続いて、①財産をもらった時の税金（暦年課税、相続時精算課税）、②財産を相続した時の税金、宅地や建物の評価方法、③土地や建物の譲渡所得に対する税金（取得費、長期譲渡所得と短期譲渡所得について）、④配偶者への贈与と配偶者控除などについていろいろ具体例を挙げながら説明をしていただきました。

研修を受けて、依頼者から仕事の依頼があった場合、依頼者の意向を聞きつつも将来を見据えた適切なアドバイスをしなければいけないと改めて思いました。

昨今は日常の業務の中においても税金の知識の必要性を感じていたので、具体的な事例で分かりやすく説明をしてもらい大変参考になりました。

また、もらった資料をしっかりと読み、理解を深めようと思いました。

平日の夕方の開催ということで、会員の出席者が少なかったのが少し残念でした。



全国一斉！法務局休日相談所

岩国会場

岩国支部長 井上哲也

表示登記関連の相談は下記の3件でした。

- 1、建物滅失登記の申請方法について
- 2、地籍調査に誤りがある場合、地図訂正は可能か
- 3、土地（農地）を造成して売りたいが、どの様にしたらよいか。

- ・会場の傍が、ゲームコーナーであり、大変に騒々しく、無料相談会の会場としては、相応しくないと感じました。
- ・表示登記や杭の日、など相談会の名称は、未だに広く一般的には理解されていない気が

がします。相談会の名称を、「土地境界争い問題 無料相談会」や「登記されていない建物 無料相談会」など具体的な名称で開催してみても良いのではないかと感じました。



周南会場

周南支部長 富永 弘

平成24年9月23日（日）10：00～16：00に「全国一斉！法務局休日相談所」と「全国一斉表示登記無料相談会」が山口県法務局周南支局で同一開催されましたので、周南会場に相談員として参加してきました。

相談会は、土地家屋調査士・司法書士・弁護士・公証人・法務局職員・人権擁護委員と7つの相談ブースに分かれており、相談件数は全体29件37人で、その内訳は、弁護士8件11人、権利12件13人、表示7件9名、人権2件4名でした。（弁護士以外は相談内容で分かれており、権利には公証人・司法書士・法務局職員があたり、表示は土地家屋調査士・法務局職員が受けました。）

隣の相談ブースの司法書士さんでは、相談内容に遺言が含まれていたのが同時に公証人に相談するなど、お互いの知恵を持ち寄り相談者がワンストップサービスをうけられる良い相談会になったとおもいます。

私が25分前に会場に到着したときに相談者がもう待たれており、すぐに相談を始めるほどの盛況ぶりでした。

昼からは相談者の方が来られなかったのので、「今まで参加した相談会と同様で、朝イチは相談者が多く昼からは少なくなるというパターンでした。」と報告用の原稿の下書きを始めたたん、「相談をお願いします」と言われ、終了10分前まで続けて相談を受け、なかなかの盛況ぶりでした。

今回の私の相談時間は、35分から55分でした。相談内容により時間は様々でしょうが概して私は相談時間がかかるような気がします。しかしながら、相談者の求めることを知り回答するにはゆっくりと聞いてあげなくてはならないし。。。なかなか難しいなと考える一日でした。



山口会場

山口支部長 本間正幸

9月23日（日）山口市コミュニティプラザにて、法務省、弁護士会主催の法律相談があり、土地家屋調査士会山口支部も参加しました。

山口地方法務局から、表示登記専門官をはじめ、5〜6人出席され、弁護士、司法書士、公証人 人権擁護委員が、それぞれ受け持ちました。

あいにく、土地家屋調査士への相談は、0でした。

9月1日の杭の日の相談は、8人でしたので、今回は、残念な結果となりました。

時間が無駄に過ぎて、長ーい一日となりましたことを報告いたしますとともに、次回は、こんなことが無いように、広告媒体でPRしてほしいものです。

以上



萩会場

萩支部 竹内重信

弁護士、公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権相談員の各1名がそれぞれ個室で接客体制を構えたものの、当日の相談来訪者は7名である、総じて多少手持無沙汰の一日であった。

個別には、相談内容不明であるが事前に申込を受けていた弁護士対応事件が3件、当日受付の事件が4件、内訳は相続事件が3件と不動産売却に伴う事前相談1件であり、土地

家屋調査士としての出番は、付属建物滅失を計画する建物表題変更登記の手続き相談のみであった。

好天にも恵まれてか近郊の学校グラウンドからは、運動会や球技大会等の歓声も聞こえ、又、道行く人の穏やかさに地域平穩の思いを感じたものである。

宇部会場

宇部支部長 藤本精二

宇部合同庁舎地下1階において4つに分かれ行われました。

すべてパーテーションに区切られていました。微妙に話し声はする感じで、個人情報保護の立場にたっているなど感じました。

1件目は登記官の藤井さんと参考に相談員として、聴くことになりました。

鉾害による地盤沈下の土地の評価や補償・売却する場合の告知など登記簿の記載の有無などで相談に応じました。石炭局が宇部市役所前から既に無くなった今、現在は九州に担当官庁があるとのことで、新たな情報の入手になりました。

2件目は相続の相談でした、高齢の親の介護をしているものの、年金のほうが、介護費用より多く、余っていくお金を子供たちで分配したほうがよいか、相続で処理したほうがよいのかというものでした。

成年後見人制度を考えましたが、親御さんを看ている方が、葬式代やお寺さんへのお布施など、また、法事の費用を考慮して、相続による分割協議書を作成し、相続したほうが良いのではと応じました。

3件目は防災地域に指定された山地番の土地を調べたいが、林班図の見方を教えて欲しいとのことでした。林班図には番号にあり、代表地番があります。資料をもらって確認し、該当する地番を当てはめてみて下さいと説明しました。山の図面が無い地域なので、所有者本人が知らなければ、税金をとっている市でも分からないと説明しました。

また、日の丸の分筆地に家が建っている、現況道があるが、分間図上道が無いようになっている。なぜなのかという質問があった。親戚関係にあった場合などで、建物新築に必要な箇所に分筆をした可能性があることを説明しました。

午前中で相談は済み、午後からはじっとまって待機した状態でした。

弁護士会の方や司法書士会の方とお話することも無く時間が過ぎました。

相談者が少ないような気がしました。場所が原因か日取りが原因か広報が原因か土地に関する相談事が無いことが原因なのか今後の課題かもしれない。

下関会場

下関支部 清水浩二

下記日程で、『全国一斉！法務局休日相談所』と『全国一斉表示登記無料相談会』が同一開催され、下関地区の相談員として参加致しました。

日時 平成24年9月23日（日曜日）

午前10時～午後4時

場所 下関市竹崎町四丁目4番2号

ヴェルタワー下関2階

しものせき市民活動センター

相談会場では、公証人・弁護士・司法書士・人権擁護委員と土地家屋調査士が相談員として5か所のブースに分かれて待機しました。各方面の法律の専門家が一堂に会して行う相談会です。新聞の予告記事など事前の広報が功を奏したのか、開始直後から相談者が来られていました。特に司法書士の方への相談者が一番多かったようでした。

私も毎年開催されている、4月1日の『表示登記の日』の無料相談会に相談員として参加していますが、毎回、相談者が少なく寂し

く感じており、相談者がいない事は境界問題が無いことと自分勝手に良いように解釈をしていました。ところが、その相談会と比べると今回の相談者の多さに、このような相談会が市民の皆様に必要なとされている事を痛感いたしました。

私が所属する下関支部では、約3か月に1度無料相談会を開催しておりますが、相談者が少ないようですので、今後は司法書士会の方々からもご協力を頂き同時開催をするなどの工夫をして、もっと市民の皆様に『土地家屋調査士』の業務を知っていただき、『土地家屋調査士』も市民の皆様のお役に立てる事をアピールできたらと感じました。

参考までに私が担当した午前中の相談者の数を掲載しておきます。

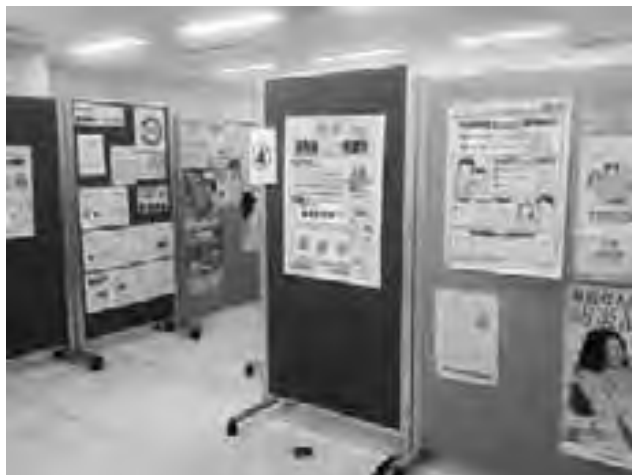
公証人 0件

弁護士 5件

司法書士 6件

土地家屋調査士 1件

人権擁護委員 1件



「全国一斉！法務局休日相談所」 相談件数・相談者数一覧

	権利に関する 登記	表示に関する 登記	商業 法人	戸籍	国籍	供託	人権	その他	計 (件数)	相談 者数
山口 会場	25	1	1	2	0	1	4	18	52	45
周南 会場	12	7	0	0	0	0	2	8	29	34
萩 会場	4	0	0	0	0	0	0	4	8	8
岩国 会場	10	2	0	0	0	0	3	10	25	43
下関 会場	11	0	2	0	0	0	0	7	20	23
宇部 会場	11	1	1	0	0	0	0	14	27	31
計	73	11	4	2	0	1	9	61	161	184

山口法律関連士業ネットワーク

「第14回一斉共同相談会」開催報告

広報部長 益田正規

下記のとおり、山口法律関連士業ネットワークの一斉相談会が開催されました。

日 時 平成24年11月11日（日） 10時～16時

場 所 ザ・モール周南 1階 海の広場

今年は周南地区での開催となったため、周南支部の方に相談員を依頼しました。

弁護士会主導のもと会場に4つのブースを設け、1組あたりの相談時間を上限30分と設定し相談会を開始しました。

なお、全体の相談結果は次のとおりです。

1. 相談件数（のべ）

事前予約数	当日	キャンセル	計	前年度合計	前年比
21 枠	25 枠	－	46 枠	19 件	242%

※ [1人で2枠] が2件あったため、相談票は44枚。

2. 当日の来場者

団体名	相談員	対応回数
弁理士会	－	－
行政書士会	2	7
司法書士会	6	18
社会保険労務士会	7	3
税理士会	2	9
土地家屋調査士会	4	2
不動産鑑定士協会	2	1
弁護士会	4	32
計	27	72

相談者の性別	
男	26
女	20
計	46

↑会場入りした人数（担当時間は区分しない。）

3. アンケート回答者数

46名中、32名 （回収率：69.56%）

4. 相談会を知ったきっかけ（複数回答あり）

チラシ	4
市町広報紙	12
各士業窓口	2
官公庁	8
タウン紙（サンデー周南）	3
商工会議所折込チラシ	1
インターネット	0
友人・知人	0
その他	3
計	33

5. 他の機関で相談した回数

ない	21
1 回ある	5
数回ある	4
無回答	2
計	32

6. 説明は理解できたか？

大変良く理解できた	27
だいたい理解できた	5
あまり理解できなかった	0
まったく理解できなかった	0
計	32

7. 相談者地域別

周南市	20	下松市	13	光市	8		
岩国市、柳井市	3	その他	1	不明	1	計	46

今年は日曜日の商業施設での開催ということもあり、想定以上の相談者が来場されました。各ブースはフル稼働の状態で、一斉相談会は大成功だったと言えます。当会への相談件数は昨年より増加しましたが、まだまだ周知不足だと感じました。

来年の一斉相談会は宇部地区での開催が予定されていますが、11月11日（サムライの日）に拘らず休日の商業施設で開催する方向で調整中です。



親睦会開催報告

岩国支部長 井上哲也

平成24年11月17日（土）岩国市錦町に於いて、調査士会親睦会が開催されました。

本年度の調査士会親睦会は、平成14年から各支部受け持ちで開催されていた「史跡巡り」が各支部を巡り終えた後の本会の福利厚生事業です。

当初、参加人数を80名程度と想定し食事や、バスの手配をしていましたが、大きく予想が外れなんと130名を越える方々に参加をしていただきました。本当に嬉しい限りで岩国支部会員一同、一層気合が入りました。

当日は、16日（金）晴天、17日（土）雨、18日（日）晴天、と谷間を縫うような天気朝から雨が降り最悪の天候でした。

錦町道の駅ピュアラインにしきに9時半集合10時出発。バス3台に分乗し、まず、とことこトレインに乗車です。とことこトレインは、雙津峡温泉駅から錦川清流線錦町駅までの約6キロ間を、鉄道が走る予定だった跡地を利用して走る観光用のトロッキ遊覧車です。中でも光る蛍光石で装飾がされたトンネル「きらら夢トンネル」内は、とても幻想的な世界でした。山あいを走るととことこトレイ

ンの車窓から、天気良ければ絶景の紅葉が眺められるはずでしたが、あいにくの雨で紅葉も色あせていました。

錦町駅到着後一路、大親睦会会場の羅漢山まで移動です。親睦会場は「羅漢高原ホール」で、そこには世界的に有名な画家・横尾忠則さんが描いてくれた天井画があります。

西本会長の挨拶のあと大親睦会の始まりです。大親睦会のメニューは鶏鍋と猪鍋、岩国ずし、他オードブルです。特に岩国ずしは岩国支部会員の田村氏の奥様を始め近隣の奥様連合のご協力を得て前日より夜遅くまで仕込みをしていただいたもので、味の方は勿論格別で鍋と共に皆で舌つづみを打ちました。又、50名限定でしたが、蒟蒻づくり体験もしていただきました。



天気良ければ羅漢山にある三角点まで登頂する計画も立てておりましたが、あいにくの雨で、計画は中止でした。

親睦会終了後、最後の目的地、深谷峡大橋散策です。

深谷峡大橋は、島根県と山口県の県境にか



かる深谷大橋巨石、怪石で名高い深谷峡に架かる西日本一を誇る最高のアーチ橋です。高さ94m、長さ100m、真紅の橋が四季に映え、この一帯の原始林と調和して壮観でした。ここは、何を隠そう自殺の名所でもあります。橋から谷まで約90m、橋の上から下を覗くと身が縮まる思いのする溪谷です。



17時に出発地である道の駅ピュアラインにしきに無事到着し解散となりました。

何かと不手際がたくさんあったはずですが、参加された皆さんが、協力をして下さり、大したトラブルも無かった様に思います。そして、悪天候の中ではありましたが、皆さんに晩秋の岩国を堪能していただけたのではないかと思います。

来年度、どこの支部で開催されるのか解りませんが、家族、補助者、会員同士が一堂に会し親睦ができるこの事業を続けて頂ければと思います。

最後に、ご参加をいただきました全ての方々に岩国支部を代表してお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

山口青調会の活動

全国青年土地家屋調査士大会in北海道参加報告

山口県青年土地家屋調査士会 副会長 宮崎敏幸

皆さんはシシャモの刺身を食べたことがありますでしょうか。私は今回北海道へ行くまで、シシャモを刺身で食べるなど想像もつきませんでした。ところで、食べたことのないものについてその美味い不味いを議論することは大変に不毛な行為です。ところが一度でも口にすると、実体験としてそれについて具体的に鮮やかに自らの言葉として語ることが出来るようになります。

全国にはどんなオトコマエ調査士がいるのか。彼らが今何をし、何を考え、何を悩んでいるのか。そして調査士の明日は？などということについても、実際に色々な場に出向き、この目で見て、この耳で聞き、触れ、味わってみてから初めてその美味い不味いを語れるようになるのではないだろうか。そんな思いから「まずはいろんなモノを食べてみようか」というコンセプト(?)のもとに私は青調会を通じ様々な行事に参加させて頂くようになりまして、早三年半がたちますが・・・そんなことは気にせず今回も一路北海道を目指すことになりました。メンバーは大来会長、和田さん、大森さん、清水さん、そして私の5名です。

10月19日11:20我々を乗せた飛行機は福岡空港を飛び立ちました。離陸早々にアツアツのコーヒーを自分におっかけ、CAのお姉さまに囲まれ、心配されながら股間を拭いてもらうというカラダを張った新サービスを開発していた方もおりましたが、無事に新千歳空港へと到着いたしました。

到着後は、同じく札幌にて開催されていた「国際地籍シンポジウム」を少しだけ見学。

ただし、頼みの綱の同時通訳レシーバーが役にたたずに、台湾の先生の論文発表も我々には馬の耳に念仏。早々に会場を後にするのでした。



国際地籍シンポジウム会場を少しだけ見学

その後、北海道のグルメを満喫するべく海鮮料理の居酒屋を予約しているにも関わらず、誘惑に負け途中のラーメン屋へと入っていくS水さん。他のメンバーも口々に文句をいいつつも皆揃って札幌名物みそラーメンを注文。コレが意外とまろやかでコクのある美味しさ。豚骨派である私もみそラーメンへの認識を改めさせられました。夕飯前にラーメンを食べるという小学生並みの大失態も気にせずに予定どおり居酒屋へ移動。どうやらメンバーの中にグルメリポーターが一名紛れ込んでいたようですが、ホッケやウニ、シシャモにキンキなど、しっかりと北海道の海の幸



北の海の幸を堪能中

を堪能しました。

翌日は午前中に札幌場外市場へ寄り道。午後からジンギスカンとビールが待っているにもかかわらず、既にビールと日本酒でデキあがった某県の青調会グループと遭遇します。その内一名に絡まれながら「さすが全国的にも有名な酔拳の名手だ」などと変な感心の仕方をしつつ、これをサラッとかわして我々はカニやイクラなど思い思いに家族へのお土産を購入し、いよいよこの旅のメインイベントへと向かいます。



巨大なビール煮沸釜の前でご満悦のお二人

全国青年土地家屋調査士大会は主に若手調査士達の交流・親睦を目的とし、例年立候補により決定する開催地の青調会が、趣向を凝らしたイベントを企画しています。今年で第10回を数え、北海道での開催となった今年度は会場を札幌ビール園とし、「全国青年調査士が一同に会し、昼間から延々とビールとジンギスカンをやっつけつつディスカッションする（通称ジンギスカッション）」というぶっ飛んだ内容が伝えられていました。

早めに会場に到着した我々は敷地内のビール博物館を見学。開拓使達が情熱を注いだビール醸造所の歴史に想いを馳せつつ、会場入りします。

主催者発表によるとこの日全国から集結した青年調査士は158名。会場には既に北海道をかたどったジンギスカン鉄板がセッティン



会場入り口で記念撮影

グされており、開会前から既に飲み、焼き始めるテーブルも散見されるなか、今大会の実行委員長である釧路会の松田整さんより開会宣言がされました。

くじ引きによりランダムに席決めをされ、私などはほとんどが初対面の方々ばかりなのですが、普段全く接点のない他県の調査士同士でひたすら羊肉を焼きつつビールを飲み語り合うことは大変貴重な経験です。ちなみに私の隣は連合会会報にも掲載され有名な調査士8耐ライダー小島さんでした。

しばしの歓談の後、今回は参加者全員が前へ出て自己紹介という暴挙とも思える企画が実行されました。皆さん気の利いた挨拶をされるなか、なぜか腕立て伏せ50回にチャレンジという方も現れるなか、わんこソバのように運ばれてくる肉を焼きつつ自己紹介のシミュレーションをしていたところ、予想通りあえなく時間超過のため中国ブロックからは各



すでに羊肉が焼かれながらの開会宣言



全国から集結した158名の青年調査士

県代表者一名のみ挨拶というグダグダな展開になりました。ここで我々が大会会長はなんと宿敵(?)岡山県代表からマイクを奪い取るという男気を見せますが、やはり相手は酔拳の魔手、軽くあしらわれてしまいます。

ひとしきり羊の味を堪能した後は少しだけテーブルを移動し、兵庫会藤井十章氏よりローマで行われたFIG(国際測量者連盟) Young Surveyors Conference参加報告と、大韓地籍公社 李賢杞氏から3Dレーザースキャナーを利用した精密測定の紹介がありました。世界的規模で測量に対する社会的ニーズを考え、これからの測量者のあるべき姿を議論し、相互に世界へ発信していこうという国際組織があるということ自体、私にとっては驚きです。一地方都市の片隅で細々と業務を行っている私のような者にとっても、近年のGPSやインターネットの利活用しかりで、こういった大きな視点から我々の日常業務を見直すことも必要となりつつある時流であることはおぼろげながら理解してはいるつもりなのですが、やはり最先端の生の声を聞くことで、改めて技術や理論の進化というものを実感します。

大会の最後を飾ったのが今回初の試みとなる第1回土地家屋調査士オトコマエ選手権ですが、120名余りのエントリーの中から鹿児島会の放生会氏が得票数トップに立ったところで、土壇場で当日参加していた女性に100

票の投票権が与えられるという波乱の展開となり、札幌会の泉澤誉一氏がグランプリを獲得。全国より集まった50種類以上の各地の名産品を総取りするという結果に終わりました。ちなみに山口からエントリーされた中からは清水さんが4票獲得の6位タイ。惜しくも入賞は逃してしまいました。

こうして、今回の旅は貴重な体験と強烈な羊の匂いを私に与えてくれました。実は帰途につく飛行機の中、携帯でこの報告書を書いていたところ、CAのお姉様に「離陸前後の携帯の使用はご遠慮下さい」と怒られてしまいましたので、私の報告はこれまでとさせていただきます。

追伸、札幌から福岡空港に到着した直後にサッポロラーメンの店を見つけ、食べて帰ると言って聞かないS水さんはホンモノのラーメン好きなのだと思います。ただし、これが札幌の超有名店〇〇〇よりも美味しいと思ったことは内緒です。

なお、次回の全国大会開催は大阪会での引き受けが決定しております。北海道と比べずいぶん移動距離も短くなりますので、興味の在る方は是非参加されてみてはいかがでしょうか。

以上、北海道グルメレポート・・・もとい全国青年土地家屋調査士大会in札幌の参加報告でした。



福岡で食べる札幌ラーメンに硬い笑顔

山口青調会「宮城会鈴木修会長を招いての座談会」参加報告

山口県青年土地家屋調査士会 山崎義文

平成24年9月15日（土）山口市菜香亭で開催されました山口青調会主催の宮城会鈴木修会長を招いての座談会に参加しました。かつての有名政治家らが利用した菜香亭の座敷間を借り、午前10時から午後15時まで時間の経過を忘れるほど充実した座談会となりました。



まず参加会員の鈴木会長に対する自己紹介から始まり、自己紹介に含まれている参加会員の悩み・質問事項を鈴木会長はノートPCで要約し、その後の座談会のテーマとしていただきました。

初めに座談会前日に行いました本会研修会のテーマの1つ「変動費」と「固定費」について本会研修会では聞けなかったことを話され、これからは事務所経費日報を「変動費」と「固定費」を念頭に入れて記録したら、ある程度不要な経費を省けるのではないかなどの参加会員の意見等があり、次に親の調査士と2代目調査士の合同事務所で、今後親の調査士が居なくなった場合について、今のうちに自分の基盤を作っておく事など詳細に話されました。

続いて、調査士の仕事を覚えていく事について話されました。先輩調査士と新人調査士との大きな違いは経験値と情報量であり、経験値については仕事が無い時期に公園などを現況測量して、シミュレーションで難しい測量計算の経験を積み、情報量についてはいろいろな研修会や親睦会に参加して他の調査士とコミュニケーションをとり、1つの事務所しか知らない自分の情報量を増やし、先輩調査士に近づいていくとのことでした。そして、自分で限界を決めないで、今の自分が知らない将来の自分の可能性を見出し、調査士でなければ出来ない事（例えばADR・筆界特定etc）の経験を積んでいくことなどでした。

そして、参加会員からの意見として、調査・測量・実施要領の第6条会員相互間の情報の共有・第8条の情報提供の義務について、会則上義務化するべきかどうか、義務化した場合のメリット・デメリット、他に筆界証明書に電話番号を記載すること、所有者一覧表に記載した地図を本人以外の関係者へ配布することは個人情報保護法に抵触しているかなどについて議論しました。



このたびの座談会に参加させてもらい、これからの調査士としてどうなりたいのか？単なる代書屋では調査士として生きていくのは無理、もしかしたら将来行政の政策によっては建物建築確認の検査済証を法務局へ送るだけで建物表題登記が可能になる将来が来るかもしれないなど、調査士として課題や不安が多くあり、決まってから行動に出るのではなく、自分たちが行動して決めていく立場にならない時代であることを話されて、今までの自分にはない、これからの自分に対しての認識を持つことが出来ました。思えば、かつての明治維新は今の自分と同じくらいか、それ以下の年齢の偉人が行動を起こし、今般の日本国を築き上げたことも深く考えました。

そして、市街地で多人数の合同事務所や法人事務所の経営が調査士としての花道だと思い込んでいましたが、1人だけの事務所でも自分のところへ来ていただいたら、税務・法律関係等も万能的に解決できる、町の人から信頼されている町医者のような事務所も調査士としての花道の1つであることも気付きました。

最後に本会研修会では聞きづらい・話しづらいけど、青調会の研修会では聞ける・話せる、本当に終了時間を忘れるほどの大変充実した座談会でした。

宮城会の会長として普段から大変お忙しい中、本会研修会ならびに青調会座談会の講師を引き受けてくださった宮城会会長 鈴木修先生に心から御礼を申し上げます。



山口青調会「勉強会」参加報告

山口県青年土地家屋調査士会 福田真也

平成24年12月1日（土）岩国市福社会館で開催されました山口青調会主催の勉強会に参加しました。

会場が岩国市ということもあり、参加者数11名と若干寂しい出席ではありましたが、下関からは6名の参加と下関支部の勉強熱心さ(?)を感じ、とても頼もしく思いました。

勉強会の内容は、初めに平成4年下関支部作成の「境界紛争劇“その時、調査士は…あなたならどうする…”」のビデオ鑑賞をしました。私を含め初視聴者は5名、まず20年前の下関支部の先輩方の様子を見て、(いろんな意味での)軽い衝撃で言葉が出ず、序盤は現在の先輩方と昔の顔を頭の中で重ね合わせることで忙しく内容が全く頭に入ってきてませんでした。しかしその脚本や演出のすばらしさ、忙しい仕事の合間に集まって綿密に練習したという寸劇に、当時の下関支部の結束力を感じとても感動しました。

溝口先生、米原先生演ずる聞く耳を持たない隣接所有者、故中田先生演ずる不動産業者、それを相手にする高田先生演ずる土地家屋調査士、崎野先生、打越先生も俳優顔負け(?)の迫力ある演技でした。

このビデオには、「予め綿密に調査・測量された情報を作成し、円滑に立会を進めることができるか?」「迅速・適正な処理をし、お客様に経済的・心理的負担を軽減させられることができるか?」といった開業一年目の私の頭を悩ますメッセージがたくさんつまっていました。

ビデオ鑑賞後の討論会では、「隣接者との最初の接触(挨拶等)はどうしているか?」

「(調査測量実施要領に則って)立会前に現況測量をし、調査素図を持って立会をしているか?または(先入観を持たないために)あえて事前測量をせず、まず所有者の主張を聞くか?」「平成4年に整わなかった境界を“今”確認するとしたら?」「筆界特定申請など新しい手法での対応は?また、そのビデオを作っているかどうか?」などといった討論が行われました。

皆さんの意見はとても熱く、あっちこっちで火花を散らし、収拾がつかないほどの白熱した討論会となりました。

二代目で父の仕事の進め方しか知らない私にとっては、他事務所の仕事の進め方を聞くことができ大変勉強になりました。

このような機会は本部・支部研修会には無いもので、大変貴重な経験が出来たと思います。今後もこのような勉強会に参加し、みなさんと親睦を深めていきたいと思いますので多数の方が参加されることを期待しております。



山口青調会「ボウリング大会及び懇親会」参加報告

山口県青年土地家屋調査士会 大森淳一

ボウリング大会

開催日時 : 平成24年8月31日(金)
午後7時
開催場所 : ボウリングの森(山口市)
参加者数 : 15名

懇親会

開催日時 : 平成24年8月31日(金)
午後8時30分
開催場所 : 鉄板酒場壺〇式
参加者数 : 15名

上記日程にて第3回山口青調会のボウリング大会及び懇親会が山口市にて開催しました。山口市での開催のためか下関から岩国まで多数の方が参加しておりまして、大変盛り

上がる大会となりました。そんな中、ボウリング大会においては、空気も読まずに総得点390点(2ゲーム)で、ぶっちぎりで優勝したのは山口支部の和田会員でした。おめでとうございます。その後、場所を移動して懇親会を行い、ボウリング大会の反省や、調査士業務の近況や仕事の進め方など、会員同士の交流を深めました。

こういった交流をもつことで、日常における業務のちょっとした相談や困った時に助けあったりと、自分にとって非常にプラスとなりました。これからも、様々な形で会員の間の親睦が深まるように、勉強会や親睦会があると思いますので、積極的に参加したいと思います。



親睦クラブの活動

「三青調会対抗ソフトボール大会」参加報告

ソフトボール同好会 百合野 崇

平成24年11月9日（金）13時から岡山ドームにて、岡山・兵庫・山口三県青年調査士会による第2回三青調会対抗ソフトボール大会が開催されました。

山口会は、昨年の優勝に続く連覇狙って、平井、和田、山根、大來、清水、山崎、八田、桑田、百合野の各会員9名で参加しました。

第1試合は、岡山会 対 山口会。

昨年も互いに死闘を繰り広げた中でしたが、今年も序盤からお互い、打ち打たれの乱打戦になり、最終回までどちらが勝つか分からない状況でした。この試合は、私（百合野）がピッチャーとして投げていましたが、最終回に崩れ、長打を打たれてしまい逆転され山口会が初の負けを喫してしまいました。

（岡山会）6対4（山口会）で岡山会が勝利。



第2試合は、山口会 対 兵庫会。

昨年は、山口会が圧勝しての勝利でしたが、今年は緊張感ある拮抗した試合になりました。ランナーが塁に出るものの、なかなか点には結びつかず、お互い譲らず回だけが進んでいきましたが、終盤山口会が少ないチャンスをモノにして辛くも勝利。この試合では、完封した山口会の桑田ピッチャーの好投が光った試合内容でした。

（山口会）4対0（兵庫会）で山口会が勝利。

第3試合は、兵庫会 対 岡山会。

昨年は、岡山会が勝ったと記憶していますが、過去にない最も白熱した試合内容になりました。勝てば優勝の岡山会に対し、2敗したくない兵庫会の底力が発揮され、お互い譲らない乱打戦、毎回点が入る中、どちらが勝ってもおかしくない内容でしたが、最終回、打線がつながった兵庫会に軍配が上がりました。

（兵庫会）10対6（岡山会）で兵庫会が勝利。

3試合の結果、得失点差で昨年に引き続き山口会が栄えある連覇を成し遂げることができました。各会共に昨年よりも上達し、どの試合もまとまりがあって、プレイヤーとしても観戦者としても楽しい親睦試合となりました。私たち山口会は、3連覇に向け、圧倒的な勝利を誓い、また1年間努力して参ろうと思います。

試合後は、岡山市内で打ち上げ懇親会。お互いの青年調査士会事情、仕事についての質問、情報交換など、ソフトボールと懇親会を通じて交流をさらに深めた一日でした。

参加された皆様大変お疲れ様でした。



ランニング同好会活動報告



代表 井上哲也

平成24年12月9日(日)第13回維新の里「萩城下町マラソン」が萩ウエルネスパークをスタート地点として開催されました。

本年度設立されたランニング同好会としての初陣です。

参加者は、岩国支部から井上哲也(10km)、森下裕一氏(5km)周南支部から富永会員のご家族 富永貴弘氏(10km)富永裕子氏(5km)下関支部から福田眞一氏(ハーフ)事務局より伊藤真由美氏(ハーフ)と、全部員12名中6名の参加でした。

当日は、朝から吹雪のような雪で、出場を見合わせた方もたくさんいた様ですが、我がランニング同好会は吹雪の中でも走り、土地家屋調査士をPRするのだ。という強い決意を胸に(私は少し心が折れそうでした。)全員が走りました。

10時にハーフの部、10時20分10kmの部、10時30分5kmの部のスタートです。

ハーフの部がスタートした時刻には雪が降っていましたが、次第に風は強く猛烈に寒いものの雪は止んできました。

5km、10kmの部は清流「阿武川」沿いを走り、ハーフの部は更に日本海沿いを走ると

いう、天気が良ければとても気持ちのいいコースだったと思います。

全員それぞれの部門で完走をしました。特筆するは、富永貴弘氏が、高校生の部で2位入賞という輝かしい成績を修め、初陣としては大きな成果が得られたと思います。

悪天候のせいもあって、控え室が大混雑で、メンバーが集合できるスペースもなく、スタート前に集合写真を全員で撮影し(富永会員は、撮影には間に合いませんでした。)健闘を祈りあった後は、皆に会うこともできませんでした。(完走を皆で称え合いたかった。)

数々の成果、反省点はありましたが、皆がそれぞれの目標を持って楽しく走りながら土地家屋調査士をPRできたことは大きな成果であったと思います。

来年度は、県内の駅伝大会に参加をしてメンバー同士の親睦を図りながら楽しく走りたいと考えています。

会員、補助者、ご家族の方でランニングに興味のある方ない方、完走できなくても、速く走れなくても大丈夫です。自然を感じながら、県内各地を一緒に走りませんか？

只今、メンバー大募集中です。



会員の作るページ

「書状集箱（郵便ポスト）」

萩支部 廣石 勝

明治の初めに開設された三見郵便取扱所（今日で言う三見郵便局）跡地に建っている。同地区での郵便局開設135周年を記念し、町内会・ふるさと史会が設けた。このポストが有る萩市三見市は、藩政時代には、萩と下関を結ぶ赤間関街道沿いの宿駅の一つである。1871（明治4）年に新しい郵便事業が始まり、三見市では75（明治8）年1月1日に個人宅で開設された。全体の寸法は160cm×35cmで、

書状集箱は30cm×35cm×13cmの杉板で茶色。今、考えれば、何と素朴な〒ポストだろう！この郵便局は、1925（大正14）年4月に三隅・萩間に鉄道が開通し、三見駅が開業したのを機に駅近くに移転した。近くには、「條々・定・覚」等の連絡文を貼った御高札場と目代による「人夫・本馬・軽尻馬」を案内した三見駅の案内板が再現されている。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	氏名 (ふりがな (生年月日))	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	堀家 徹 (S20.9.24)	H24.9.20 (再入会)	〒750-0074 下関市彦島本村町六丁目 19番10号	(083) 267-3834	(083) 267-0341
	高嶋 雄一 (S42.11.10)	H24.12.20	〒752-0906 下関市東観音町22番8号	(083) 248-5773	(083) 248-5993
	末富 洋一 (S54.7.8)	H25.1.10	〒759-2212 美祢市大嶺町東分315番地3	(0837) 52-2205	(0837) 52-2275

◆新入会員よりひとこと

高嶋 雄一 会員

この度、下関支部に入会しました高嶋雄一と申します。

高校卒業後は、建設会社に入社し土木工事の作業員として働いてきました。

当時勤めていた会社の倒産を期に29歳で独立し、土木建設会社を設立しました。

独立前の会社で培った宅地造成工事の技術をより一層高めるべく、38歳で宅建士としてこの度土地家屋調査士の資格をとりました。

土地家屋調査士の業務は、未経験であります。調査士会の先輩方のご指導を頂きながら、調査士会の一員として頑張っていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

末富 洋一 会員

みなさま、初めまして。この度、山口県土地家屋調査士会に入会させていただきました、美祢市の末富洋一と申します。

実務経験がなく、測量のいろはも分からない身としましては、先に実務を学ぶべきか、登録すべきか悩むところでしたが、後者を選択しました。未熟者ではありますが、これから少しずつ経験を積み、一人前となるべく精進して参ります。どうぞ、諸先輩先生方におかれましては、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

趣味は登山ですが、冬山の事故が多い昨今、身の丈にあった山登りを心がけております。

2. 会員数

平成25年1月10日現在会員数

会員数 233 法人数 5

3. 事務所変更

支部	氏名	変更 年月日	変更後		
			事務所	TEL	FAX
下関	藤山 政志	H24.9.27	〒750-1143 下関市小月駅前一丁目1番23号	(083) 249-6381	(083) 249-6382
岩国	藤井 充弘	H24.10.1	〒740-0035 岩国市海土路町二丁目23-23-5	(0827) 31-1675	(0827) 31-1675

4. TEL・FAX等変更

支部	氏名	変更事項	変更後
岩国	荒川 和子	メールアドレス	arakawax@arion.ocn.ne.jp
周南	永瀬 勝博	FAX	0834-33-8107

会務報告

開催日	会 務	場 所
9月1日(土)	杭の日無料相談会	県 下 4 会 場
9月3日(月)	杭の日無料相談会	県 下 3 会 場
	山口法律関連士業ネットワーク第3回理事会	山 口 市
9月5日(水)	第3回業務部会	調 査 士 会 館
	第1回支部企画委員と業務部との協議会	調 査 士 会 館
	登録証交付式	調 査 士 会 館
9月13日(木)	本部研修会打合	周 南 市
9月14日(金)	第1回本部研修会	山 口 市
9月19日(水)	第2回山林地図検討準備委員会	調 査 士 会 館
9月23日(日)	「全国一斉！法務局休日相談所」及び「全国一斉表示登記無料相談会」	県 下 6 会 場
9月25日(火)	第1回筆界特定制度と調査士会ADRとの連携についての協議会	山口地方法務局
9月26日(水)	会則第109条に基づく調査	調 査 士 会 館
	会則第105条に基づく調査	調 査 士 会 館
	登録証交付式	調 査 士 会 館
10月2日(火)	公嘱協会との協議会	調 査 士 会 館
10月5日(金)	海抜表示板設置事業打合	光 市
	中国ブロック協議会主催 「境界問題相談センター情報交換会」	広 島 市
10月6日(土)	中国ブロック協議会・広島会主催 「境界問題相談センター研修会」	
10月9日(火)	ホームページリニューアル打合	調 査 士 会 館
10月11日(木)	第2回総務部会	調 査 士 会 館
	会則105、109条に基づく調査	調 査 士 会 館
	法務局との協議	山口地方法務局
	第1回社会事業部会	調 査 士 会 館
10月16日(火)	第3回山林地図検討準備委員会	調 査 士 会 館
10月18日(木)	第1回全国会長会議（1日目）	札 幌 市
10月19日(金)	第8回国際地籍シンポジウム	札 幌 市
	法テラス山口地方協議会	山 口 市
10月20日(土)	第1回全国会長会議（2日目）	北 海 道
10月26日(金)	公嘱協会正副理事長会議	調 査 士 会 館
10月27・28日(土・日)	中国ブロック事務局職員情報交換会及び親睦会	岡 山 市
10月28日(日)	自民党政経セミナー	山 口 市
11月6日(火)	中間監査会	調 査 士 会 館
	第2回財務部会	調 査 士 会 館
11月8日(木)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局岩国支局
	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局宇部支局
11月10日(土)	第2回本部研修会	山 口 市
11月11日(日)	山口法律関連士業ネットワーク「一斉共同相談会」	周 南 市
11月13日(火)	会則第109条に基づく調査	調 査 士 会 館
	会則第109条に基づく調査報告	山口地方法務局
	第3回常任理事会	調 査 士 会 館
11月16日(金)	中国ブロック協議会役員会議	岡 山 市
11月17日(土)	親睦会	岩 国 市
11月20日(火)	第4回山林地図検討準備委員会	調 査 士 会 館
11月25日(日)	平岡秀夫議員を励ます会	調 査 士 会 館
11月26日(月)	連合会会長山口地方法務局表敬訪問随員	山口地方法務局
11月27日(火)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査報告	山口地方法務局
12月3日(月)	山口法律関連士業ネットワーク第4回理事会	山 口 市
12月5日(水)	周南支部研修会（講師派遣）	周 南 市
12月7日(金)	第3回業務部会	調 査 士 会 館
12月10日(月)	会務処理	調 査 士 会 館
12月13日(木)	東日本大震災支援金寄付	福 島 市
12月14日(金)	会報編集会議	調 査 士 会 館
12月17日(月)	第5回山林地図検討準備委員会	調 査 士 会 館
	J R 西日本との折衝	調 査 士 会 館
12月19日(水)	第2回社会事業部会・第4回境界問題相談センター運営委員会合同会議	調 査 士 会 館
12月25日(火)	登録証交付式	調 査 士 会 館
12月27日(木)	ホームページリニューアル打合・会報校正	調 査 士 会 館

広報部より

新しい記事として私の好きなお店（仮称）を検討中です。隠れた名店、地元の方しか知らないお店等紹介できればと考えております。会員の皆様からの情報をお待ちしております。

その他の話題、体験談等も随時募集しております。

☆現在、ホームページのリニューアルに向け準備をしております。運用開始の時期が決まり次第ご案内させていただきます。

編集後記

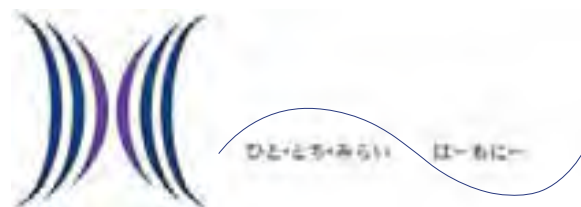
新年あけましておめでとうございます。

今年もお正月恒例の三社参りをしてきました。（と言っても、近場の神社ですが…）お詣りすると「新しい年を迎え、今年も頑張るぞ！」という気持ちを強く持つので気が引き締まる思いです。三社参りのもう一つの楽しみは、食べることです。今年も各地でおいしいお店を発見しました。おかげで体重はというと、過去最高を更新！（このままでは！？）

今年の目標は「時間を見つけて運動する」ことにしました。

2013年が会員の皆様にとってより良い年となりますように！

発 行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電 話 (083) 922-5975
F A X (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
振 替 01590-5-11085
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 西本 聡士
広報担当副会長 戸倉 茂雄
広 報 部 長 益田 正規
理 事 河内 浩己
〃 豊川 奎植
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net